被告人国選弁護報告書2【控訴審用】

（書式4-5②　H29.10.30版）

弁護士　　（登録番号　　）　　提出日　　年　　月　　日

事件番号:　　年(　う　)第　　号　　被告人名:

			法テラス使用欄
特別加算	重大案件	□　重大案件　＊故意の犯罪行為により被害者を死亡させた罪で死亡被害者2名以上+整理手続に付された事件に選任	
	特別案件	□　特別案件　＊刑訴法第38条の3第1項第5号の規定に基づいて国選弁護人が解任された事件に選任	
	特別成果	□　無罪等　（**詳細は別紙「特別成果加算(無罪等)請求書」に記載**）（**要疎明資料添付**）	
		□　示談等の活動あり(**詳細は別紙「特別成果加算(示談等)請求書」に記載**)（**要疎明資料添付**）	□
		国選弁護人の活動として、次の申立て・請求を行い、認められた結果、被告人が釈放された。 (要「裁判書謄本の写し」添付)　＊次の該当するものにチェックし、請求日など記載ください。 □勾留決定に対する準抗告又は抗告の申立てを行い、勾留決定が取消され、被告人が釈放された。 □勾留取消しの申立てを行い、勾留が取消され、被告人が釈放された。 □保釈請求を行い、保釈許可決定を受け、被告人が釈放された。 請求・申立日:　　年　　月　　日　　釈放日:　　年　　月　　日	□
費用	遠距離接見等・出張	□　有　（詳細は別紙「**旅費等請求書**」に記載）	□
	通訳人費用	□　有　（詳細は別紙「**通訳料請求書**」の通り）	□
	訴訟準備費用	□　有　（詳細は別紙「**訴訟準備費用請求書**」に記載）	□

＊謄写費用請求がある場合、下記にご記入ください。（別紙「謄写料請求書」に記載していただいても構いません。）　□

謄写料を次のとおり請求します。(要疎明資料添付:謄写枚数及び単価が記載された領収証の写しなど)

謄写（デジカメ以外）	白黒		枚	カラー		枚　＊2色カラーはカラーでの請求となります。
デジカメ謄写	白黒		枚	カラー		枚　＊実際にプリントアウトした枚数
法テラス使用欄	白黒合計		枚	カラー合計		枚　＊カラー1枚は白黒2枚として算定

①　下記②以外の事件について　＊総謄写枚数が200枚を超える場合のみ、ご記入ください。
（ただし、趣意書等の提出前に解任（取下）等された場合は全枚数の請求）

＜法テラス記入欄＞【通常事件】

単価　　円 × 　　枚 単価　　円 × 　　枚 単価　　円 × 　　枚	控除後 単価　　円 × 　　枚 単価　　円 × 　　枚 単価　　円 × 　　枚 □　実費合計　　枚　　円	□　定額計算 20円×　　枚＝　　円 □　上限計算 40円×　　枚＝　　円

②　下記に該当するもの（全枚数の請求）がある場合はチェックしてください。チェックがない場合、上記①請求として取り扱います。

□否認事件(一部否認を含む)　＊否認事件とは公訴事実を争う事件をいいます。
□原判決の宣告刑が死刑又は無期懲役の事件
□控訴審において整理手続に付された事件
□記録丁数が2000丁を超える事件
（丁数については　□裁判所に確認した。／□自身で枚数を確認した。）

＜法テラス記入欄＞【否認事件】

単価　　円 ×　　枚＝　　円 単価　　円 ×　　枚＝　　円 単価　　円 ×　　枚＝　　円	□　実費合計 　　円	白黒　40円 ×　　枚＝　　円　□　上限計算 カラー　100円 ×　　枚＝　　円　　円

＊　なお、ご記入いただきました個人情報は、日本司法支援センターにおいて管理し、日本司法支援センターにおける国選弁護関連業務に使用する他、総合法律支援法・同施行規則及び契約約款に基づき、日弁連、所属弁護士会、関係機関等に情報を提供することがあります。また、被告人から請求があった場合、同様に情報を提供する場合がありますので、予めご了承ください。